

耐震強度偽装事件で正会員宛に会長通達

すでに報道を通じてご存じのことですが、姉齒元建築士による耐震強度偽装事件が発生して、建築関係者だけでなく社会問題として大きく取り上げられ世間の耳目を集めています。これまで設計者は技術者の本質として「倫理観を持って正義を貫く」ということで教育され、それを実践してきました。しかし、本事件では「建物づくりに携わる技術者」である以前に、「人間」としてあってはならない背信行為を冒し、建築物の創り手に寄せる市民の信頼を根底から覆してしまいました。このことを憂いた明野会長は、12月5日付けで「耐震強度偽装は“対岸の火災”ではない 設備設計事務所業務の適正な執行について(通達)」として、正会員事務所の代表者宛に文書で呼びかけました。

この中で、明野会長は「私たちが携わる設備設計は確認申請図書においても換気・排煙・ガス・非常照明など、誤りを冒せば重篤な事故につながる問題を多く扱っている。設備の計画・設計・監理の過程で適切な留意と対応を怠れば、安全性、居住性、耐久性、利便性、環境保全などにおいて発注者、使用者にもたらす不利、迷惑がはかり知れない事態となることもある」と戒めました。そして、「正会員事務所とその技術者たちが“隗より始めよ”に徹し、今回失われた“建物づくり”に対する世の信頼回復のため、建築士たちと力をあわせ、設備設計の適正な執行を目指し真摯に立ち向かう」ことを要望しました。また、協会が「関連団体と密接な連携のもと事態の対応をはかること、会員事務所員が技術力向上に向けた学習企画を充実し、信頼と評価を高められる専門知識、技量などの支援を図る」と約束しました。

委員会の報告

10月17日に発行しました「協会だより第4号」以降の各委員会では、次のような活動・審議・報告を行いました。

<業務環境改善委員会>

1. 後継者育成小委員会のMET協会賞関連について
2. 教育事業小委員会の消防設備士、建築設備士第一次・試験準備講習会と教育事業関連(研修会のアンケート)について
3. 業務改善小委員会の設備設計標準的業務報酬の調査検討、「地域対外活動」の継続活動、経営セミナー開催、ISO共同取得、設計図書の知的所有権の研究、協会HPに業務委託関連掲示板の開設について

<公益・事業委員会>

1. 新技術普及小委員会の新技術セミナー(ガラス建築の新しい空調システム)、ボウリング大会の報告、新技術発表会について
2. ONA小委員会の技術セミナー、ONA2006展示

●耐震強度偽装事件と関連ニュース●

今回の偽装事件では、構造問題だけでなく実にさまざまな問題が露呈し議論されています。この事件の裏に潜む建築業界の本質的問題が業界団体の関係者により指摘されております。そこで、会員諸氏に知って欲しい情報として、建設業界の新聞等で報道された内容の一部を紹介いたします。

- ・この事件の背景には、倫理的課題だけでなく建築産業の変容による経済的側面、建築確認制度、建築士制度、発注・受注における元請け・下請けなど法制度や建築生産全般にかかわる問題が存在する
- ・建設産業における施主、設計者、確認審査機関、施工者の役割分担、責任が不明確になっている
- ・建築基準法、建築士法が制度疲労を起こし、社会に適合しなくなっている
- ・建築士の役割分担を明確にし、意匠、構造、設備と独立した資格として責任を持たすべきである
- ・元請けとしての建築事務所についても統括する責任は大きい
- ・管理建築士の要件を強化すべきである
- ・建築士の登録更新と継続的なCPD教育をすべきである
- ・建築設計がますますIT化しブラックボックス化している、犯罪防止あるいはミス防止のチェックシステムが必要である
- ・別のエンジニアがチェックする「ピアチェック」が必要である
- ・検査機関制度のチェック能力とあり方を見直す必要がある
- ・発注者と設計者に賠償責任保険加入の義務付けを検討

このように、構造技術者だけでなく、設備技術者にとっても意識していかななくてはならない問題が数々取り上げられています。また、設計者に対する賠償責任保険への強制加入が検討され、当協会の運営する「建築設備士賠償責任保険」が脚光を浴びることも予想されます。全国展開への道筋が開ければ、保険金額の低廉化につながる可能性もあると思われる

会について

<広報・情報委員会>

1. MET第2号の企画について
2. 協会だより号外版発行、協会だより第5号の掲載内容について

<ホームページの情報選択と更新について>

<建築電気設備電保護委員会>

1. 建築設備設計基準(国交省案)について
2. 竣工時の雷保護システム検査、等電位ボンディングの確認方法、接地抵抗の測定、電磁界の影響に対する保護手段の計画(案)について

<賛助会>

1. 会の最近の動向と常設委員会の活動状況について
2. 賛助会規約(案)について、その他意見交換

ます。

一方、建築設備技術者協会と日本設備設計事務所協会では、今後必要に応じて、建築士法改正をにらみ設備資格についての意見統一や方向性をさぐることにしています。その上で日本電設工業協会、日本空調衛生工事業協会を交えた設備4団体による協議会を開催することも伝えられています。

●地球温暖化防止ポスト京都会議がカナダで開催●

今回のカナダ会議は京都議定書で義務付けられた排出削減期間が終了する2013年以降の国際的な温暖化対策を論じるものです。かたくなに議論を拒否していた米国が国際的な議論に参加させることにかろうじて成功しました。また、今回の会議で京都議定書の運用ルールが決まり本格的に始動することになりました。温暖化ガスの排出取引や二酸化炭素の森林吸収などの位置付けを明確化しました。先進国が途上国で温暖化防止事業を行うクリーン開発メカニズム(CDM)について承認され、省エネルギーの認定基準が緩和されます。日本は議定書で定められた6%の削減義務のうち1.6%を排出権取引やCDMでまかない、残り4.4%の削減で目標を達成できると推定されています。

●改正省エネ法施行令で届出義務範囲など規定●

国土交通省はエネルギーの使用の合理化に関する法律施行令の一部改正案を公表しました。改正案では届出・報告の対象の範囲を以下のように規定しています。2000㎡の標準的な規模以上の改修で、修繕、模様替えする屋根、壁、床の面積が2000㎡以上、交換する熱源機器の出力合計が300KW以上、空調機の定格風量が60000m³/h以上、2つ以上の昇降機の交換など。また、2000㎡以上の住宅が追加され、新築、増改築、大規模修繕の場合に非住宅と同じく省エネ処置の事項の提出が義務付けられたほか、届出建築物の定期的維持保全の状況報告も義務付けられています。施行令は12月上旬公布、施行は06年4月1日の予定です。

●第2回 技術情報研究セミナー

「法改正」と「知っておきたい技術情報」●

「省エネルギー法の改正」に伴う講座が平成18年2月17日(金)14:00~18:00橋本総業の会議室で開講されます。定員50名のためご希望の方はお早めにお申し込みください(申込締切2月3日)。

詳しくはホームページ <http://www.met.gr.jp> をご覧ください。

●第93回 建築設備総合ゼミナール

「省エネ・コスト削減・CO₂排出量削減」のご案内●

ゼミナールでは、地球温暖化防止をめぐる環境経済についての基調講演と各種手法による省エネ・コスト削減・CO₂削減の事例、運用実績を講演します。

開催日:平成18年2月2日および3日

9:30~16:35

開催場所:ダイキン工業(株)東京支社5階会議室

詳細は(社)建築設備総合協会(TEL03-5445-4266)までお問い合わせ下さい。

●平成17年度 消防設備士受験準備講習会

(甲種第1類)実施報告●

10月25日、標記講習会が当協会事務局会議室で開催されました。正会員、賛助会員合わせて11名の方が参加し資格取得への意気込みが感じられる講習でした。

●オープンネットワークオートメーションシステム 技術セミナー実施報告●

11月2日、こどもの城(社)児童育成協会)においてオープンネットワークオートメーションシステム(ONA)に対応できる最新情報および事例紹介のセミナー開催されました。正会員、賛助会員ほか合わせて61名が参加しています。

●第1回 学習視察会実施報告●

11月11日、40名の方がたが参加し学習視察会が開催されました。当日参加された明野会長からはお礼と報告が届けました。その一部を紹介いたします。

東京電力大月支 駒橋制御所「TEPCO葛野川IPR館」で東電の方から電力設備、安定した電力供給ならびに水力発電のしくみ等について説明を受けました。続いて桂川水系に設けられている「東京電燈」最初の水力発電所で、その後の大規模水力発電所開発のきっかけとなった「駒橋発電所」および世界最大級の有効落差を誇るエネルギーの貯蔵機能を持つ揚水式発電所「葛野川発電所」を視察しました。エネルギーの有効利用など設備設計関連技術者にとって有意義な知識を肌で感ずることのできた企画でした。

●第3回 METゴルフ競技会成績報告●

11月11日、第3回METゴルフ競技会が西熱海ゴルフ場で開催されました。結果は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 足立 茂 (森松工業(株))
- 準優勝 丹波 信三郎(高砂熱学工業(株))

●ボウリング大会成績報告●

11月16日、正会員と賛助会員企業社員の親睦交流として定例のボウリング大会がBIG BOX(高田馬場)にて開催されました。正会員、賛助会員、協会職員合わせて102名が熱戦をくりひろげました。なお、結果は次のとおりです。(敬称略)

- 優勝 丹羽 祥造 (高木産業(株))
- 準優勝 下向 節子 (東芝ライテック(株))

●新規加入会員のご紹介●

	社名	業種
協会員	NASファシリティデザイン室	空調・衛生

●社名変更のお知らせ●

	旧社名	新社名
賛助会員	丸紅設備株式会社	株式会社 夢真総合設備

◆◆◆平成18年賀詞交歓会の予定◆◆◆

新たな年の初めを飾る「平成18年賀詞交歓会」の予定が、次のとおり決定しました。
日時:平成18年1月31日(火)
場所:ホテルグランドパレス
なお、詳細は後日お知らせいたします。